

輸送 アフリカ初の高速鉄道がモロッコで開業予定

原題：Africa's first high speed line to open in mid-2018
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.8 (2017-8) pp.39-42

当初の予定から遅れましたが、モロッコのタンジェとケニトラ間の約200kmを結ぶ高速線が2018年半ばの開業に向けて、現在工事の真っ最中です。最高速度は320km/hですが、開業当初は速度を落として運行します。アルストム製の12編成の車両はTGV Duplex2N2をベースに空調容量をアップし、砂塵の侵入防止対策を行っています。またETCS レベル2を装備しています。電気方式は交流25kV50Hzですが、車両はモロッコの在来線も走行できるよう直流3kVにも対応しています。開業すると、タンジェとカサブランカの間は4時間45分が2時間10分に短縮されます。現地では料金の設定が注目されていますが、モロッコ国民すべてが恩恵を受けられるように、在来線と同程度になる見込みです。モロッコ国鉄は1時間ヘッドの運転で乗車率70%を想定して、年間600万人を輸送する目標です。



出典:Railway Gazette International
タンジェ～ケニトラ間の軌道敷設と電化設備工事

輸送 旅客マーケットの最大活用

原題：Making the most of the tourist market
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.6 (2017-6) pp.63-65

2017年末に実施される新たな長距離旅客サービスの認可にともない、SBB（スイス連邦鉄道）は新たなビジネスの構築を鋭意進めています。同国の鉄道輸送収入の主役である観光輸送に関しては、ゴッタルドパノラマ特急を活用した新たなサービスの提供などを進める一方、一般旅客列車についても各国と競合する長距離旅客輸送への新しい列車設定や新車導入により競争力強化を図ります。他国との直通旅客については、厳しい状況ながらオーストリア鉄道との協調を進めます。さらに国内長距離旅客については、ジュネーブからチューリッヒ、ヴィンタートゥールにいたる主回廊のICマーケットに新しい車両の投入を予定しています。



出典:Railway Gazette International
3両の展望車両を含むゴッタルドパノラマ特急

輸送 鉄道無料化の教訓に学ぶ

原題：Learning the lessons of free rail travel
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.7 (2017-7) pp.44-46

モーダルシフトと環境にやさしい旅行手段の提供を目的として、2014年以来、スロバキア政府の資金援助で進められた鉄道旅行の広範なディスカウント（子供、学生、シニア層の無料化、通勤パスの大幅引きなど）が運輸業界に深刻な歪みをもたらしました。駅の混雑、座席確保の困難、予想以上のコスト増と収入減、バスなどの他交通機関への影響のほか、有料の旅客のICサービス離れなどをもたらしました。このような施策は大胆過ぎたと言わざるを得ません。



出典:Railway Gazette International
無料利用により混雑しているスロバキアの鉄道

安全 テロ攻撃を防ぐ駅の保安検査

原題：Einlasskontrollen auf Bahnhöfen zur Abwehr von Terroranschlägen
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.68 No.7 (2017-7) pp.24-26

一連のイスラムテロ襲撃の後、フランスでは2015年の年末に国際高速列車タリスへの立ち入り制限処置が取り入れられました。これは鉄道システムにおける初めての導入でした。同じ安全体制がドイツ、ベルギー、オランダの鉄道駅へ導入され、その計画の規模と予告は国際的な注目を集めています。



出典:Eisenbahningenieur
対テロ装置としての旅客および荷物検査設備



WRT（海外鉄道技術情報）は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。

⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ（研友社）TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp